

パワープレイ (1978)

POWER PLAY
OPERATION OVERTHROW [V]

メディア 映画
ジャンル アクション サスペンス
製作国 イギリス／カナダ
色彩 Color
時間 103分
初公開日 1979/11/17
公開情報 ワールド

【解説】
ヨーロッパの仮想小国で巻き起こったクーデターをリアルに描き、権謀術策の醍醐味を存分に味わわせてくれた知られざる傑作。大臣誘拐事件を機に、テロリスト一掃命令を下す大統領。だが、怪しき者は逮捕せよ、という秘密警察長官（プレザンス）の方針は、次々と無関係の犠牲者を出していた。知人の娘を殺された陸軍大佐（ヘミングス）は、戦術に長けた教授（モース）や同志と共にクーデターを計画、始めは拒んでいた戦車隊長（オトゥール）も加わり、遂に決行の日がやって来た……。
前半、水面下で繰り広げられる秘密警察とクーデター派の諜報戦はサスペンスに満ち、戦車隊が街中に進撃してくる後半からはスペクタクルに溢れ、全編通じての権力争いの駆け引きは知的興奮を呼び覚ます。そして、それらをあくまでもリアリティにこだわって、セミ・ドキュメンタリー・タッチで淡々と見せる新鋭M・バークの演出力。カナダ軍の全面協力によって実現した都市制圧の図など鳥肌も立ちかねない凄さだ。仮に“クーデター映画”というジャンルがあるならば、間違いなく最高峰に位置する完成度である。

【クレジット】			
監督	マーティン・バーク	Martyn Burke	
製作	クリストファー・ダルトン	Christopher Dalton	
	デヴィッド・ヘミングス	David Hemmings	
製作総指揮	ロバート・M・クーパー	Robert M. Cooper	
	ロナルド・I・コーエン	Ronald I. Cohen	
原作	エドワード・N・ルトワク	Edward N. Luttwak	
脚本	マーティン・バーク	Martyn Burke	
撮影	オウサマ・ラーウィ	Ousama Rawi	
音楽	ケン・ソーン	Ken Thorne	
出演	ピーター・オトゥール	Peter O'Toole	ゼラー大差
	デヴィッド・ヘミングス	David Hemmings	ナリマン大差
	バリー・モース	Barry Morse	ジャン・ルソー
	ドナルド・プレザンス	Donald Pleasence	ブレア
	ジョン・グラニック	Joh Granik	レイモンド・カサイ
	マーセラ・サン・アマン	Marcella Saint-Amant	ルソー夫人
	ジョージ・トーリアトス	George Touliatos	バリエントス
	チャック・シャマタ	Chuck Shamata	ヒルズマン
	ゲイリー・ライネック	Gary Reineke	アラムコ
	ハーヴェイ・アトキン	Harvey Atkin	アンウォー

オーガスト・シェレンバーグ	August Schellenberg	ミン
アルバータ・ワトソン	Alberta Watson	ドナ